

Date: Jan / 11st / 2020

Name: 初田 美穂

・自分の作品を製作するということは、~~制作~~ 内容と決めずから
対播者(協力者)とのかけ合いを創る以外にも、9x9、10x10があり
その場で対応する力が求められることを知り得ました。

自分のバの動きが、現場を創り出すことも免れはなかった。
"ありのまま"を引き出し、受け取り姿勢は深いワークスでありとも
想像以上のものだった。

本日 皆さんの作品を鑑賞させて頂いて、構成の精度や
作品を魅せる力を感じました。こんなに精度の高い作品を
あの短期間で創り出せることに驚いています。

これからワークスに頭を悩ませますが、もう少し、相談しながら
完成させたいと思います。

Date: 2020 / 1 / 11

Name: 橋本 隆史.

上映会では「どこまで伝わるか、どこまで伝えたいか」という観点で、
とても考えさせられました。

ナレーションをいれること ~~は~~ イメージの出し方の順序など、
それを観る人が、各々のホームの切り取り方、~~は~~ 見せ方があって、
とてもおもしろかったです。ラストの「リフレアップ」にいかしたよ！

HITを通しては、取材の難しさ、編集の難しさ、
を通して感じました。

もう一度やるなら、もっと ~~違う~~ 手法で、つくりたいかなー
と何度も何度も考える半年間でした。

あっかん！とこ！でいりました!!

Date: 2020 / 1 / 11

Name: 西井 彩

調査された側もさることながら、調査する側が
映像の制作を通して考え方が変化していったことが
印象的でした。

私自身は、大学で(エス/グラフィック/ドキュメンタリー/映画制作)など
あちこちの街で調査研究をしてきましたが、今回、ふだん
との大きな違いとして「最後に映像作品にする」という
明確なゴールに向けて調査をしたことがありま~~し~~た。
カメラやボイスレコーダーはいつもの研究でも使いますが、
作品に仕上げることを念頭に置いていて、被調査者との
対話のしかた、関わり方が変わり、撮り方(録り方)も
変わりました。いつもより一人称的になるかと思いきや、
案外いつもより一人称的に取り組むことができた気がします。
「あとで分析する」という場合と「あとでこれをもとにうつる」
という場合では、後者の方がやりやすくて主観的になれました。
すると考えることも主観的になって、自分の経験と結びつけやす
かたです。

おもしろかたです。

に い



HOME
in Tokyo

Date: 2020 / 01 / 11

Name: スイ

上映会

今日 みんなの映画を見て、~~自分~~「エスワラフィーボス」のところが
気に入って、自分の映像をみるとまた ~~自分~~ ぜんぜん その人たち (LEK,
NVRVL) のストーリーをうまく エッセンスを キャラクター まで ないとい
感っていました。2月までには 大層 変化する 可能性がある と思う 気がします。

TEI さんのスタイルは すごく 気に入ったし、みんなのストーリー テリッグ
の力に 惹かれます。

Hint の 活動を通して

この活動を通して、「~~どうも~~ 調査する」とその調査を
「表現する」というステップは 一番 難しい ことに 思えます。色々 インタビューの
手法 を 使ったため、~~また~~ 「イベント」でもなく、様々な バックグラウンド
の人たちが どうやって イメージ、映像にするのか experimental
白々に やって みました。 ~~自分のものでも どうかが 分からないが、~~
~~みんなの 本の 発言で、~~

毎回 会う 時に、~~また~~ ディスカッション も たった ほんの うちを
もって、人々 みんなの 望み 4 の 通り アイデアを 交換 する
ことが できて いました。色々 ありがとう ございます。

今のところ テイテール に 書けない ですが、もし 機会
あれば ぜひ 話したい です。これから、動画 に する こと
のかを 迷っています。

HOME
in Tokyo

Date: 2020 / 1 / 11

Name: 中野 岳

初回

- ・ 今回にて「交遊会」の一回目
- ・ 時を共にする時間はあふれ、空間は異なっている

高山さん

- ・ アーティストだから絵が上手なところ

橋本さん

- ・ 話の情報はすごい
- ・ インタビュの情報が良かった
→ 状況がよくわかるものが出てくる
- ・ 普段、話したことない人から意見をもらう
- ・ マスク、ほい。(報道)

They

- ・ 日常の何気ない瞬間を記録する大切さ
- ・ 普段、近しい人とも知らない GIGA 生の姿がわかる

西井さん

家族の

- ・ 家族の生活の瞬間に家族の姿の姿がわかる
→ 家族の姿も、

7000 人を超える

講座の中で紹介されたもの、
今日の上映で見てもらった
7000 人を超える、色々な
映像の形を知りました。
どの映像にも、編集者と
対象者の内面がこころ
よく表れていると思いました。

Home というテーマ自体
自分自身で見つめなおす
良い機会になりました。
自分と家族の関係性、
家のインテリアに対する思い、
リノベーションを編集者に
思い出すことかたがたありました。

HOME
in Tokyo

Date: 2020 / 1 / 11

Name: たけしまのりこ

おはようございます。冬と春の季節です。
元気な声で！

12月のクリスマス。12月のクリスマス。クリスマス。
冬と春。冬と春。冬と春。

冬と春。冬と春。冬と春。

冬と春。冬と春。冬と春。

"fly on the wall" の意味。

冬と春。冬と春。冬と春。

冬と春。冬と春。冬と春。

冬と春。冬と春。冬と春。

冬と春。冬と春。冬と春。

Date: 2020 / 1 / 11

Name: 松尾 葉奈

今回の感想 と スタジオ全体

全ての映像のクオリティが高く、
見ごたえがありました。

同じ 'home in Tokyo' というテーマから
これほど多様な表現方法があることを
見て、わたしにとって大切な学びに
なりました。

テーマを設定して映像制作品をつくる
ことが最終形態ですが、今回のスタジオ

期間中は常に「homeとは何だろう?」という問いを
考えていたように思います。それによって新たな人や場や
モノに対する視点が変わったように思います。自らが
人生の過渡期にいるからこゝろ、ゆれが大きい、
悩んだり、関心を発見しようとしていることが、スタジオ
を通して改めて見つめ直すことができました。
多分、homeを考えることは、終わりのないことだと思っ
たけれど、スタジオが終わっても

考え続けようと思いました。

HOME
in Tokyo

Date: 2020 / / /

Name: 神野真実

作品の上映を通じて、東京に住む人、年齢も国籍も
暑しさも様々な人の姿に圧倒された。HOMEという
他人からは見えにくい領域の中に、そこで暮らす人々
の大切にしているものが垣間見え、この作品にも通じた
愛おしさを感じた。

また、自分の作品と作中で、何とどうで言葉として伝える
べきか映像として伝えるべきかで悩む時間が多かったが、
それぞれの人の映像を見ながら、それぞれの伝え方が
多様さにも気づかされた。人間性からよくよく考えることと
知った。

HOME in Tokyo のクラスを通じて、自分の中にあった
大切にしていたもの、あらねばならぬと思っていたものに
出会ったと思う。

HOME
in Tokyo

Date:

2020 / 1 / 11

Name:

木崎 幸 晴加

ゴンドラの唄が聴きたくなりました。
私がこのステイでつかんだ感覚は「違う目(他人の目)を通じ
現実世界をみる」というものだと思います。
毎日、チェックインを含め 参加者の方々が当たり前ですがごく個人的な
ストーリーを生きていて、「人は皆違う」とわかっていったような気がしていた
けど、ものすごく多様だとしても通じるところもあって... 自分は今までの気分や
ネガティブな経験を通して引っぱられてきた中でやった事のいいことをやってみる勇気
がなかったと思います。他人(家族といえど)の生活に踏みこんだことも
も今まで避けていた気がします。
それぞれが色々な経験を通して今生きているということが
皆さんの映像から伝わってきて、自分も自分の体験や気持ちを
共有したほうが(それが言葉によって、その人自身のつらさや悲しみ
など)につながると思うので)いいなと思いました。

HOME
in Tokyo

Date: 2020 / 01 / 11

Name: 田中 翔貴

「Home in Tokyo」このテーマを元にスタディをしていき、
本日中野会がありました。一人一人の考え方や見方の
解釈の仕方が全く違い、色々な言葉や意見も聞くことができたのが、
何よりの得たものです。

自分自身も見つめ直す良いきっかけであり、今後更に、進んでいく方向にも
良い影響がありそうです。普段言葉にしたり、アウトプットするのには
慣れていませんが、これから頑張っていこうと思います。

まだ終了していませんが、短い間、ありがとうございました。

この教室に来ることも「Home」でした！

HOME
in Tokyo

Date: 20 / 1 / 11

Name: こじまなすニ

みなさん、こんばんはにゃー！

着眼点も工夫されてるし、テラニカルにはお特
とうていかみわかい人も多いし。

なんや"まじしい!!" 感じだ いっぱいでした。

超 属人的で、なつあいまい(な気がする)Home さん

テラで 数ヶ月の時間を過ごせること、あやうに

感じてる日々でした。 } 平和な"世界"みたいと、とうてい
少なくとも表面的には じきみ。

自分の作品については、なんと"フー"なことか! という

アドホックなくせませんが、これはまあ、仕方ないかな。

とりあえず、ニミで来て、まじーく! っ...としました。

HOME
in Tokyo